

少人数社会のかたち #04 福岡

共同体を 維持する 仕組み

各地で地域住民が共同で行い、維持してきた祭りや地域の行事などの継承が危ぶまれている状況である。一方で、度重なる自然災害からの復興の過程において、祭りの復興は地域住民の活力を生み、祭りの場となる祭祀空間がいち早く再建がされることがある。このような背景から、祭りが集落維持、地域自治の継承に寄与すると考えられ、これからの持続可能な地域運営の果たす役割について評価することは重要である。福岡県京築地区では脈々と続く「豊前神楽」がある。若い世代に継承され、多くの住民が関わり、楽しみにしている祭りである。集落では神楽の舞台である神社（共同施設）を維持管理し、祭りの間は老若男女がそれぞれの役割を要し、集落一丸となって行われる。

本研究会では祭りが地域に寄与しているコトと神楽講を継承するヒトをテーマに、地元の方々、研究会参加者と意見交換を経てこれからの地域コミュニティの継承への手がかりを考えたい。

プログラム

- 1 挨拶・主題説明
- 2 神楽実演 山内神楽講
- 3 話題提供
「神楽を舞う人々1」内丸典久（三毛門神楽講）
「神楽を舞う人々2」田中雅之（小原神楽講）
「祭りへの行政としての支援」栗焼憲児（求菩提資料館館長）
「豊前神楽の概要」柴田加奈子（西日本工業大学）
- 4 ディスカッション（話題提供者・地域住民・委員）
- 5 まとめ

日時：2020年12月12日（土）
14:00～17:00

会場：山内郷土文化保存伝習施設
【福岡県豊前市山内 687-1】

問い合わせ：西日本工業大学
岡田研究室（柴田）
shibata@nishitech.ac.jp